

NEW

ウェブサイトが新しくなりました！

より分かりやすく・使いやすくなったので、自然散策にお役立てください。右のQRコードからアクセスできます。



裏磐梯クマ目撃マップ

最新クマ目撃情報も見られます！



**ビジターセンターを紹介**  
イベント、レンタル、団体利用など



**生き物たちを紹介**  
クマ情報、裏磐梯だよりの公開など



**裏磐梯の魅力を紹介**  
季節の見どころ、五色沼や毘沙門沼の様子など



**裏磐梯の自然を紹介**  
各探勝路の概要、マナー、服装&道具など



**裏磐梯までのアクセス**  
自家用車の場合、公共交通機関の場合

イベント情報

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントに参加される方は感染症対策へのご協力をお願いします。マスクを着用していない方や体調がすぐれない方は、イベント参加およびビジターセンター入館をお断りさせていただきます。また、イベントは人数を制限して開催しております。ご理解のほどお願いいたします。

わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。

- 受付日 : 土日祝
- 受付時間 : 10:00 ~、11:00 ~、14:00 ~、15:00 ~
- 所要時間 : 各回 30分程度
- 参加費 : ひとり 100円 (保険料込)
- 定員 : 各回 5名程度

スライドトーク

スタッフが磐梯山の噴火、五色沼の水の不思議や、裏磐梯の生き物などについてお話しします。

- 受付日 : 土日祝
- 受付時間 : 11:30 ~
- 所要時間 : 約 30分
- 参加費 : 無料
- 定員 : 20名

雪室見学

エコな冷房のために、たくさんの雪を貯蔵しています。ご覧になりたい方は、スタッフにお声がけください。

- 受付日 : 土日祝
- 受付時間 : 随時
- 所要時間 : 約 10分
- 参加費 : 無料
- 定員 : 各回 5名程度

レンタル情報

レンタルグッズ	料金	内訳	
		レンタル代	補償金
長靴	¥500	¥300	¥200
双眼鏡	¥1,500	¥500	¥1,000
クマ鈴 (夏季のみ)	¥1,100	¥100	¥1,000
スノーシュー (冬期のみ・大人)	¥2,500	¥1,500	¥1,000
スノーシュー (冬期のみ・子供)	¥2,000	¥1,000	¥1,000

貸出時間はビジターセンター開館~閉館まで(クマ鈴以外)クマ鈴の貸出は各施設とも受付15時まで、返却16時まで補償金は破損・紛失なく返却の際に返金

クマ鈴のレンタルやってます！

五色沼周辺の3施設(ビジターセンター、観光プラザ、物産館)で共通のクマ鈴をレンタルできます。

上記3施設どこでも貸出・返却できます(例えば、ビジターセンターで貸出、物産館で返却)。



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697  
【電話】0241-32-2850 【FAX】0541-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/  
【入館料】無料 【開館時間】9:00~17:00(4~11月) / 9:00~16:00(12~3月)  
【休館日】毎週火曜日(祝祭日のときはその翌日)



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



裏磐梯図鑑 No.23

鶴の鳴く夜は恐ろしい…トラツグミ

自然解説員の巡視日記  
探勝路の維持管理

ようこそビジターセンターへ  
「雪室」見学できます！

「五色沼」

吾妻山にあるもう一つの五色沼。別名「魔女の瞳」・「吾妻の瞳」とも呼ばれ、一切経山の山頂から見下ろすことができる。コバルトブルーが美しい沼で、光の具合で色合いが変化する。

T. Nako

皆さんは初夏から夏の夜更けに、口笛のような、あるいは金属がこすれるような、不気味な声を聞いた経験はありますか？ それは「鶺鴒」の鳴き声だと教えられた人もいることでしょう。鶺鴒と聞くと、金田一耕助の映画のキャッチコピーを思い出す人も多いかと思います。

鶺鴒は想像上の生き物です。その姿は「頭はサル、体はタヌキ、尾はヘビ、脚はトラ」と奇怪です（図 1A）。鶺鴒は平家物語にも登場します。天皇の住む屋敷に現れては、夜な夜な不気味な声で鳴いたようです。源頼政が弓を持ってこれを退治し、天皇を安心させたと言います。

さて、夜中に聞こえる不気味な鳴き声の主ですが、「トラツグミ（虎鶺鴒）」というスズメ目ヒタキ科の鳥です。全長 30 cm ほどで、胸から腹にかけて虎斑模様があり、雌雄で色や模様は変わりません（図 1B）。低山から亜高山帯の森林にかけて生息しています。繁殖期の夜間から早朝にかけて「ヒュー」や「ヒョー」という口笛のような鳴き声で、くり返しさえずります。姿をみる機会はありませんものの、裏磐梯では身近な野鳥です。

もし、夜に口笛のような不気味な鳴き声が聞こえてきたら、トラツグミのことを思い出してください。それは決して恐ろしい鳴き声ではなく、小柄な鳥が愛のため、一生懸命にさえずっている声なのです。



図 1. 鶺鴒とトラツグミ

- A. 想像上の生き物「鶺鴒」
- B. トラツグミ *Zoothera dauma* (Latham)

トラツグミのダンス？

日中にトラツグミを見かけたら、じっくりと観察してみましょう。地面の上で、おしりを振りながらステップを踏み、まるでダンスを踊るかのような行動をすることがあります。これは地中にあるミミズなどの小動物を刺激して、驚いて出てきたところを食べる採餌行動だとされています。そして、地中から出てきた餌は見逃さず、素早く捕えます。



探勝路の維持管理

裏磐梯は福島県内でも指折りの観光地です。一方で、観光利用が多いゆえの様々な問題を抱えています。ゴミのポイ捨てや探勝路外への立入り、外来種の侵入・定着などです。ビジターセンターでは、環境省やパークボランティアの方々と協力し、探勝路の維持管理を行っています。

例えば、探勝路の清掃です。探勝路に落ちているゴミ拾いも行っていますが、木道に生えたコケの除去も行っています（図 2A）。コケをそのままにしておくと、木道が腐ってしまいます。

オオハンゴンソウの防除も行っています。オオハンゴンソウは特定外来生物に指定されており、旺盛な繁殖力で在来の植物を駆逐する恐れがあります。毎年、裏磐梯では定期的に抜き取りを行っていますが（図 2B）、まだまだ根絶には至っていないのが現状です。

裏磐梯には数多くの探勝路がありますが、ビジターセンターの職員だけではその全てを維持管理することは出来ません。この裏磐梯の豊かな自然を安心安全に楽しむことが出来るのも、様々な人々の協力があつてこそだと、日々感じています。



図 2. 探勝路の維持管理活動  
A. 木道に生えたコケの除去  
B. オオハンゴンソウの防除

ようこそ裏磐梯ビジターセンターへ

「雪室」見学できます！

Welcome

雪室は冬の間に降った雪を貯蔵しておく施設です。貯蔵した雪のなかにお酒や野菜などを入れ、保存や熟成のために使われてきました。

裏磐梯ビジターセンターにある雪室（図 3A）は、自然に優しい「エコな冷房」として活用しています。冬の間に周辺に積もった雪を雪室に貯蔵しています（およそ 180 トン、図 3B）。盛夏になると館内の暑い空気を雪室に送り、雪の間を通して、温度が下がった空気を再び館内に送り返しています。

雪室の「見学室」では、冷たい空気を実際に体験したり、貯蔵された雪をご覧になれます。また、ご希望に応じて、雪室の正面にある黒い大きな扉をスタッフが開放します（図 3C）。目の前に現れる雪の壁と、そこから溢れ出る冷気に、驚くこと間違いなしです。



図 3. 裏磐梯ビジターセンターの「雪室」  
A. 雪室の外観  
B. 雪の充てん作業の様子（2021年2月）  
C. 雪室正面の扉を開放した様子